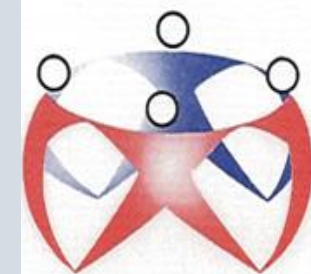


# サザンクロス語学学院

## 学生ハンドブック



### 目次

出発前に .....	2	学校内での携帯電話の扱いについて .....	15
新生活への順応 .....	3	学生の規則 .....	15
ホストファミリーとの生活 .....	4	登校時間と下校時間 .....	16
各自の部屋について .....	6	休憩時間と昼休み .....	16
バスルーム、シャワー、トイレ .....	7	キッチンと教室の当番 .....	16
洗濯 .....	8	自由時間 .....	17
食事 .....	9	英語を上達させる一番良い方法とは .....	17
家庭でのお手伝い .....	10	スクールアドバイザー .....	18
電話とインターネット .....	10	病気 .....	18
門限と安全 .....	11	医者や歯医者にかかる場合には .....	18
友人を自宅に招くことについて .....	11	迅速な処置が必要な場合 .....	20
ホストファミリーの前では英語で話す .....	11	精神的な健康への配慮 .....	20
交通手段 .....	13	緊急事態が発生した場合には .....	21
銀行口座開設 .....	14	日本のご両親、保護者へのサポート .....	21
学校でのクラスについて .....	15	本学院の規則 .....	22



1年間のニュージーランドでの留学先に、サザンクロス語学学院をお選びいただきありがとうございます。お会いできることを楽しみにするとともに、私たちと過ごす1年間を最大限に生かし、英語を上達させることができるようにサポートいたします。

ニュージーランドのライフスタイル・文化・伝統は、日本で慣れ親しんでいたものとは異なります。このパンフレットは、将来何年にも渡ってあなたの宝となり得る1年のための、アドバイスとなる情報が含まれています。

## 出発前に

あなたはきっと興奮するか、神経を尖らせるか、心配になるか、またはその全てを感じるかもしれません。これは至って普通のことです。このように感じる生徒はあなただけではいはずです。

ニュージーランドに来る前に、ホストファミリーと連絡をとることは可能です。Eメールを送るのは良いアイデアでしょう。

どんなホストファミリーが良いか、どのクラスに所属するのか、どのように自由時間を過ごすのかなど、あなたは多くの期待をしていることでしょう。

しかし大切なことは、心を開いて新しい状況に慣れようと努力することです。

ニュージーランドと日本で、様々な違いがあることに気づくでしょう。

そんな時にはこういった違いに心を開いて気長に対応しましょう。

## 生活に馴染むこと

ニュージーランドの生活に馴染むタイミングは、生徒それぞれによって違います。すぐに日本の家にいるように感じる生徒もいますが、ほとんどの生徒は順応するのに時間がかかります。焦らず、慣れる時が来るのを待ちましょう。



## ヒント

▶ ファミリーの一員になりましょう。あなたのホストペアレンツ、ホストブホストブラザー、ホストシスターと共に過ごす時間を楽しみましょう。彼らを尊重し、フレンドリーな態度で接しましょう。そうすれば彼らも同じようにあなたに接してくれるはずです。



▶ もしホストファミリーに、どこかに一緒に出かけたり、何かを一緒にしようと誘われた場合には、できるだけそれを受け入れるようにしましょう。そういった誘いを断ってしまうと、ホストファミリーはあなたが自分たちと一緒に 時間を過ごしたくないと考え、そしてそれが頻繁にあると突然誘うことをやめてしまうかもしれません。友人と過ごす時間を大切にしたいと思う気持ちは自然で、それは間違っではありません。ですが、ニュージーランドにいる間は、ホストファミリーと共に過ごす時間と友人と過ごす時間のバランスをうまく取る  
ことが大切です。



## よくある質問



Q ホストファミリーと会えるのはいつですか？

A ホストファミリーは登校初日にあなたを学校に迎えにきます。荷物はその時ホスト宅まで運びます。

Q ホストペアレンツをどう呼べばよいですか？

A あなたのホストマザーとホストファーザーに尋ねてください。“What should I call you?(あなたをどう呼べばよいですか?)”

ママ、ダッドと呼ぶ生徒もいますが。名前で呼ぶ場合もあります。

Q 食事の時のテーブルやリビングルーム（居間）では、どこに座ればよいですか？

A もしどこに座れば良いか不確かであれば、“Where should I sit?(どこに座れば良いですか?)”と聞いてみましょう。

## ヒント

▶ ホストファミリーと過ごす時間を取らなければ、彼らのことを知ることはできません。英語を上手に話せるか話せないかは気にせず、辞書を持ってでもとにかくコミュニケーションを取ることを第一にしましょう。

▶ 日本での生活をここで再現しようとするよりも、あなたのクワイライフ（ニュージーランド式の生活）を創っていくことを楽しみましょう。

## ホストファミリーとの生活

自分の家としてホストファミリーの家を尊重しましょう。

ホストの家はホテルではありません。ホストファミリーのプライバシーや所有物を尊重しましょう。誰かの持ち物を借りたり使う前に、借りてもよいか、使って良いかを事前に聞きましょう。



自室に閉じこもらないでください。勉強をするために、心が落ち着く静かな自分の部屋に居たいと思うことは自然なことです。しかしホストファミリーと何気ないおしゃべりをして過ごすことは、あなたの英会話の素晴らしい練習となります。ホストファミリーと毎日少しでも一緒に過ごす時間を取ることを目標にしましょう。

ニュージーランド人は、時として喜怒哀楽やその時の気分を日本よりもストレートに表すときがあります。

もし10代のホストシスターやホストブラザーがいるならば、ホストペアレンツとの意見の衝突から、話し合いにも大きな声をあげたりすることもある



かもしれません。しかし、ニュージーランド人はこれを新たな独立心の芽生えと捉えます。ホス

トのメンバーが時に大声で話すことがあっても、彼らを“怖い”と捉えないでください。

多くのニュージーランド人は、家でも公共の場でもしばしば愛情表現を隠そうとしません。もしあなたがハグをされることに抵抗があるのであれば、学校にお知らせください。ホストファミリーにあらかじめ伝えておきます。

#### ヒント

- ▶ “please (どうぞ), thank you(ありがとう), hello(こんにちは), good morning(おはようございます), そして good night(おやすみなさい)を必ず言いましょう。こういったシンプルな挨拶をすることで、ホストファミリーはあなたが礼儀正しい人だと知り、また日本のご両親も同様に礼儀正しいだろうと考えます。
- ▶ もしホストファミリーの言っていることが理解できなければ、それを彼らに伝えてください。生徒たちは潜在的に気まずい状況を避けるために、わからなくても“Yes(はい)”と言いながら頷くということをよくします。しかし



もしホストファミリーが“あなたは理解している”と思ったことを、後になって実は理解していなかったと知った時、もっと気まずい状況になるでしょう。

▶ ニュージーランドでは、心をオープンにすることがとても大切とされています。ホストファミリーがあなたを信頼することは、とても重要です。そのためにはいつも正直であることが大事です。ホストファミリーがあなたのことを正直ではないと位置付けると、彼らにあなたのことを信頼させるのは難しくなるでしょう。

▶ どこかに外出する時や、何らかの理由で学校からの帰宅が遅くなる場合には、必ずホストファミリーに連絡しましょう。ホストファミリーは、あなたが学校にいない間の責任者でもあります。そしてもし決められた時間に帰宅しなかったり、あなたと連絡が取れなかったりした場合とても心配します。

▶ ホストファミリーとの関係で、どのように対応すればよいかわからない時には、学生アドバイザーや担任、または他のスタッフに遠慮なく聞いてく

ださい。私たちはいつでも手助けします。日本のご家族に相談したいと思う気持ちは自然ですが、ご家族のアドバイスはニュージーランドとは異なる日本の文化習慣を元にしたものとなることもあります。

### ベッドルーム

一般的に、ホストファミリーはあなたの部屋に入る前にドアをノック



しますが、小さい子供はノックをせずに部屋に入ってくるかもしれません。これは彼らがあなたを家族の一員として扱っているからです。もしこういったことが気になるようであれば、ホストペアレンツまたは学校のスタッフに相談してください。ベッドルームは、綺麗に保ち、ベッドメイキングをするよう努めてください。

ニュージーランドでは通常、太陽の光と新鮮な空気を部屋に入れるためにカーテンと窓を開けます。夜間や外出する時には、必ず窓は閉めましょう。



ベッドには備え付けの電気毛布があるかもしれません。電気毛布はマットレスに取り付けてあり、“オン”にすると暖かくなります。就寝する約1時間前に電気毛布をオ

ンにし、ベッドに入る前に”オフ“にしましょう。長時間にわたって電気毛布をつけたままにしておくと、火事の原因になるので気をつけましょう。

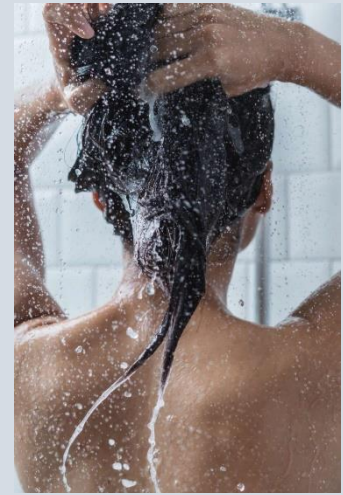
## ヒント

▶電気毛布、ヒーターやヘアーアイロンなどの電化製品の電源をつけたままにしたことに外出時に気づいた時には、すぐにホストファミリーに連絡し、そのことを伝えてください。

▶ホストファミリーは日本のご家族よりも早めに就寝する傾向にあります。寝室に向かう前に、“Good night(おやすみなさい)”と伝えましょう。

## バスルームとシャワー

シャワーは毎日浴びることができます。ホストファミリーにシャワーを使う一番良いタイミングを聞いてください。シャワーを使用する時間は5-10分にするように心掛けましょう。



これには理由が2つあります。ニュージーラン

ドの多くの家庭では、水は電気で温めますが、電気代がとても高いです。もし長い時間シャワーを浴びてしまうと、タンク（電気で温められたお湯が入っている）のお湯を使いすぎてしまいます。タンクのお湯が少なくなればそこに真水が自動的に足され、時間をかけて電気で温めることになります。そしてそれは、あなたのすぐ後に入る人が冷たいシャワーを浴びなければならないことを意味します。

またホストは、夜間の決められた時間以降、シャワーを使わないようお願いするかもしれません。これはすでに眠っているホストファミリーを起こさないようにするためです。

## トイレ

トイレのドアに鍵が必ずついているとは限りません。トイレに入る前には必ずノックをして、そこに誰もいないかを確認しましょう。使い終わった生理用品をどこに捨てるかは、ホストマザーに聞きましょう。ナプ



キンとタンポンは、トイレに流すことはできません。

## 洗濯物

洗濯はホストにしてもらえます。下着やスポーツ等で着用した服は毎回洗いますが、ニュージーランドでは一度着た服がまだきれいな場合は、洗濯しないこともあります。

自分の部屋で濡れた服を乾かさないでください。自室の暖房を使って服を乾かしたいと考えるかもしれませんが、これは室内の湿度を高くし、カビの原因にもなります。

## ヒント

▶服や寝具にシミを作った時には、洗濯の前のつけ置きが必要でしょう。洗濯場に行って、水を入れたバケツ（血液の場合は冷水）にしみ抜き剤を入れて、つけ置きします。

詳しくは、ホストファミリーに話して指示を仰いでください。



*My clothing/bedding is*

*stained.* 服/寝具にシミができてしまいました。

*What should I do?* どうすればよいですか？

## よくある質問

**Q.** 下着は自分で洗いたいです。どうすれば良いでしょうか？

**A** ホストマザーに、“I’d like to wash my own underwear.

(下着を自分で洗いたいです。)”と、伝えてください。

## 食事：ディナー



ファミリーが食べ始めると同時に、食事を始めましょう。食事を作ってくれた人に“*Thank you for dinner*(夕食を作ってくれてありがとう)”と伝えるのは良いアイデアです。彼または彼女はその言葉を喜ぶでしょう。

好きではない食べ物には、“*No, thank you.* (いいえ、結構です)”と断っても問題ないです。ホストファミリーは気にしません。苦手な食べ物も少なくとも 1 度は挑戦してみるもの良いでしょう。それもニュージーランドでの貴

重な経験です。

全員の食事が終わるまで、席についていてください。

おやつとしてどんなものを食べても良いのか、ホストファミリーに尋ねましょう。

食事の時には携帯電話は触らないようにしましょう。

もし料理が好き、または料理を学んでみたいのであれば、ホストマザーに伝えてください。

## 朝食とランチ

朝食は自分で用意をして食べるのが一般的です。ニュージーランド人のほとんどは、平日の朝はシリアルかトーストを朝食として食べます。卵も好まれます。

そしてランチは自分で作るよう、求められるかもしれません。ホストマザーがどういった食べ物をランチとして持っていけるのかを教えてください。食べ物を入れるランチボックスは、ホストから受け取ります。

学校には電子レンジと調理をするための設備が揃っているので、ランチタイ

ムにインスタントの袋麺を調理したり、前日夜のディナーの残りをランチにした場合には温めて食べることもできます。

## 家での手伝い

ニュージーランドでは、家事の手伝いを誰もがするのが一般的です。あ



なたも 1 つは手伝いをするを求められるでしょう。例えば食後にお皿を洗ったり、食器洗い乾燥機で洗った食器を食器棚に戻すなどです。

注意点：

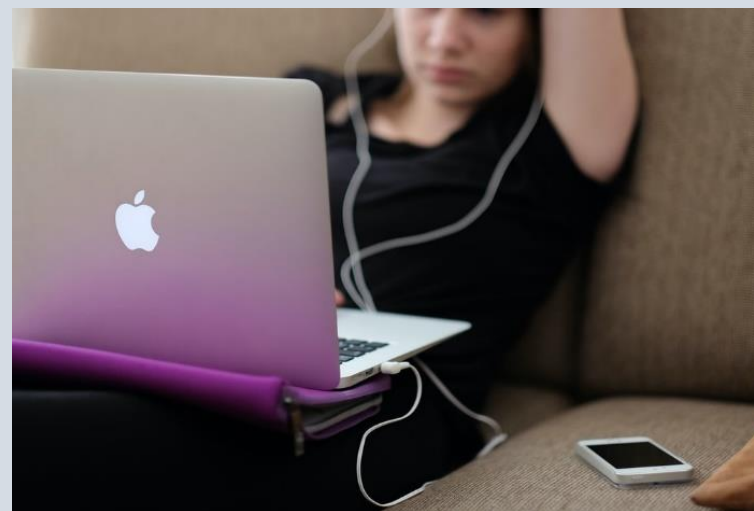
小さなホストシスターやホストブラザーをあやしたり、ベビーシッターをすることはあなたの仕事ではありません。もしそのようなことがあった場合には、学校にお知らせください。

## 電話とインターネット

ほとんどの生徒は、日本の自宅に電話をするために自分の携帯電話を持っています。ホスト宅の電話を使って国際電話をかける場合には、必ずホストファミリーに声をかけて承諾を得てください。

ホームステイでは、宿題のためや友達や家族との連絡のためのインターネットの利用はできますが、ビデオや音楽、映画のダウンロードはしないように気をつけてください。

またルールとして、日曜日から木曜日の夜 10：30 以降、金曜日と土曜日の夜 11:00 以降は、インターネットを使わないようにしましょう。



## 門限と安全

ホストファミリーは、あなたに何時に家に戻る必要があるかを教えてくれます。もし公共のバスを利用する場合は、暗くなる前には自宅に到着する必要があります。この時間は、通常明るい時間帯が短い冬は早く、日が長い夏は遅くなります。

暗くなった後に終了する各種クラブやグループ、習い事に参加する場合には、ホストファミリーに迎えにきてもらうよう頼む必要があります。

## 友人を家に招くことについて



友人を家に招く場合には、事前にホストファミリーに声をかけてください。スリープオーバー（友人の家に泊まること）はニ

ュージーランドでは一般的ですが、その場合にはあなたのホストファミリー

と友人のホストファミリー両方の許可が必要です。

学期内の日曜日から木曜日は、スリープオーバーはできません。（翌日学校があるため）

## ホストファミリーの前で英語を話す

ホストファミリーの目の前で、友人と日本語で話すことは失礼なことだとみなされます。

## よくある質問

Q ホストファミリーを変えることはできますか？

A 簡単に言えば、ホストファミリーを変えることはできます。ですが、変更を希望する前に以下の事項をよく考えてみましょう。

## あなたとホストファミリーはお互いをより理解するための時間を十分に取りましたか？

個々の性格によって、あなたのキウィ・ファミリーが“家族”のように感じられる時間は異なります。焦らずに待ってください。その時は突然訪れます！

あなたとホストとの関係を、他の生徒たちと彼女達のホストとの関係と比べても意味がありません。同じ人などいないのです。これもあなたの進む旅路の一部です。楽しみましょう！

### 変更を希望する理由は正当であるのか？

ホストファミリーの家にケーブルテレビがない、ホストマザーがあなたのランチを作ってくれなかったり学校に車で送ってくれないと言った理由は、ホスト変更の正当な理由にはなりません。

### あなたは現実的ですか？

日本のご家族があなたにする扱いと、同じことをホストファミリーはしてくれません。あなたはニュージーランドのホストファミリーの一員なのです。ホストはあなたが慣れ親しんだこととは異なる方法で、物事を進めることもあります。



### 簡単に解決できる問題がありますか？

もしホストファミリーと関係で小さな問題があれば、学生アドバイザーや担任の先生、または SCLI のスタッフに相談してください。私達は状況を改善するため助言をし、問題を解決するための適切な英語をアドバイスします。

覚えておいてください：

ホストファミリーとの問題についての相談は、あなたの許可がない限り私たちはホストファミリーと話し合うことはありません。

## ヒント

▶良好なコミュニケーションは大切です。

言いましょう： おはようございます、さようなら、おやすみなさい、行ってきます、ただいま。

質問しましょう：元気ですか？ 今日はどうな一日でしたか？ 週末/ホリデー中の予定はありますか？

▶あなたの予定をホストファミリーに伝えましょう：どこに行くのか、誰と一緒に行くのか、いつ戻ってくるのか。

緊急な出来事が発生した時、ホストファミリーがすぐに連絡することができるように、あなたの予定とどのあたりにいるのかをホストが常に把握することが大切です。



## 交通手段

学校へ歩いて通うことができる生徒もいます。しかし多くの生徒はバスを利用します。クライストチャーチのバスを利用するのに必要なバスカードの購入は、学校がお手伝いします。またバスの利用方法の説明も教えます。

生徒達は自転車で学校に来ることもできます。市内の至るところに、自転車の専用レーンがあります。自転車が歩道を走ることは禁止されています。

そして法律によってヘルメット着用を義務付けられています。学校に自転車で登下校する前に、ニュージーランドの標識と自転車用の交通ルールを理解し、ホストファミリーと学校の承認を受ける必要があります。

条件付きの運転免許証を持つドライバーによる車の移動は、禁止されて

います。(例えば、仮免許のドライバーの車の移動は禁止)



## 銀行口座の開設



学校は入学日（登校第一日目）に銀行口座の開設の手続きをします。

日本のご両親が送金ができるように、以下の情報をご両親に伝えなければなりません。

口座名義と口座番号

銀行名と支店名・住所

あなたの名前とホストファミリーの住所

銀行のスイフトコード

ニュージーランド人は、支払いの際に日本ほど現金を使いません。ATM やエフトpos（デビットカード）の使い方に慣れるように、お手伝いします。

ヒント

▶ホストファミリーの名前、住所、電話番号は常時携帯するようにしましょう。学校の名前、住所、電話番号も同様です。

こちらが学校の情報です。

Southern Cross Language Institute  
55 Papanui Road  
Merivale  
Phone (03) 355 3378

## Question:

Q. 道に迷ってしまったらどうすれば良いですか？



A. ホストファミリーまたは学校に電話を

してください。名前とともに、“*I am lost* (道に迷いました)”と伝え、あなたがいる通りや道路の名前を教えてください。携帯電話の電源を入れたまま、そこで待っていてください。私たちが迎えにいきます。

## 学校でのクラス

それぞれのレベルに合ったクラスで英語を勉強することは、とても重要です。この理由から、登校1週間目の間にクラス分けのテストを実施します。テストの結果で、上級クラスと標準クラスに分けます。このクラス分けは後日見直され、英語習得の進み具合によって何人かの生徒はクラスを変更するかもしれません。一般的には、朝のクラスで使う教科書の最初の4つのユニットの試験であるテスト1以降は、クラス変更はありません。



## 学校での携帯電話

授業時間外は、学校内で携帯電話は使

用することはできません。

授業中の録音や授業内容の記録、例え

ばホワイトボードの情報を写真に撮る

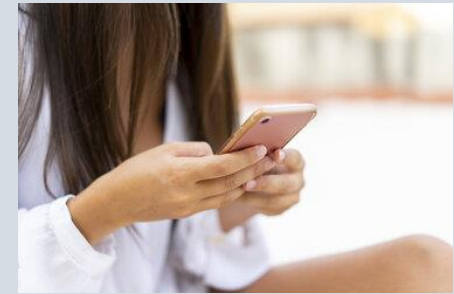
などの目的であれば、使用することができます。授業中で上記の目的以外

は、携帯電話はカバンの中に入れておく、もしくは机の上に画面を下にし

て置いてください。

## 生徒のルール

日本の学校の規則がここでも適用されます。



このパンフレットの後ろにある生徒のルール一覧をご確認ください。



### 学校の始業・終業時間

学校は朝 8：30 から夕方 4：00 まで開いています。場合により、この時間

外でも開いていることもあります。

### 休憩時間とランチタイム

朝の休憩時間は 10：40 から 11：00 までです。教室を離れて、2 つある休

憩室の 1 室で休憩を取るか、外に出てリフレッシュしましょう。多くの生

徒は休憩時間にお菓子を食べますが、調理をしたり温かい飲み物を飲む時

間はありません。教室内では飲食ができないので注意してください。

ランチタイムは 12：30 から 13：30 までです。食べ物を温めたりインスタ

ント麺類を調理するのに、調理器具や電子レンジを使用することができます。

もし鍋を使う場合には、使用後にきれいに洗って棚に戻してください

。ランチタイムでは紅茶やコーヒーを飲むこともできます。

授業は 3 時に終わります。学校が閉まる 4 時までは学校に残って勉強する

こともできます。

1 週間に 1 度、ランチの後に全校集会があります。

### キッチンと教室の当番

1 年に 2 回、1 週間のキッチンの当

番（学生用のキッチンをきれいにす

る、ランチタイムで出たゴミを捨て

る）と教室の当番（教室のゴミを捨てる、ホワイトボードをきれいにする）

があります。



## フリータイム

ニュージーランドに到着して最初に気づくこととして、日本よりもずっと自由な時間（フリータイム）が多いことが挙げられるでしょう。私達は全ての生徒たちに、ニュージーラン



ドに滞在の1年間、少なくとも1つはクラブやグループ、スポーツ等のチームに所属するよう強く奨めています。また習い事を始めたくありません。学校が、参加してみたい何かを見つけるお手伝いをします。

**Q** 英語を上達させるのに一番良い方法はなんですか？

**A** この話題には多くのアドバイスがあげられますが、私たちが考える英語を最も上達させる生徒は...

- 英語での失敗を恐れない。留学が始まった当初から、彼女たちは知っている英語と授業で習った英語、そして授業外で学んだ英語（例：ホストファミリーから）を使おうと努力します。
- 英語を話すとき、書くときに間違えてしまうことは、学びの一部であると認識する
- 読む。学校には様々なレベルに合った本があります。ある研究では、読書は言語習得をより上達させる素晴らしい手段だと言われています。優れたライティングスキルを持つ生徒は、概してたくさんの本を読んでいます。
- 担任の教師にアドバイスを受ける。教師はあなたに必要な学習の分野を特定して、より英語を上達させるための良い提案をしてくれるでしょう。
- ポジティブな考え方を維持する。時には自分の英語に上達が見られないと感じることもあるでしょう。またテストの結果や評定にっかりするかもしれません。こういった気持ちは普通で、失望するの

も自然なことですが、まだ諦めてはいけません。そのまま懸命に勉強を続けることで、私は上達するんだと自身に確信させるのです。もし行き詰まった場合には、学生アドバイザーに相談をする良いタイミングかもしれません。

### スクールアドバイザー

私たちのスクールアドバイザーは、ニュージーランド永住権を持った日本人です。彼女は週 2,3 回の午後に学校に来ます。相談をする場合には予約をとる必要があります。アドバ



イザーは相談内容の守秘義務を負いますが、問題を解決するために校長にアドバイスを求める必要があるかもしれないことをご了承ください。またスクールアドバイザーは、ホストファミリーと直接連絡を取ることはありません。

スクールアドバイザーの連絡先をお知らせしますが、緊急時のみの連絡にしてください。緊急性のない問題については、予約を取って相談してください。

注意：

1. SCLI またはホストファミリーは、あなたが自身や他者に危害を加える恐れがあると判断した場合、あなたの同意なしに警察に連絡します。
2. もしあなたが誰かに脅迫されたり危険を感じた場合には、緊急サービスに電話をしてください。電話番号は、111 です。あなたの名前と住所、電話番号を伝える必要があります。

### 体調不良

家にいてください。あなたかホストが学校に電話をし、授業の欠席をお知らせください。



### ニュージーランドで医者にかかること

ニュージーランドでは、軽い体調不良（喉の痛み、微熱等）で病院へ行き治療を受けることはほとんどなく、まずは自宅で休養を取って様子を見ます。



### 体調が悪く、学校を休む場合

体調が悪い時には、通学はせず、自宅で休養をとりましょう。あなたかホストファミリーは、SCLI（電話番号 03 3553378）に電話し、名前と欠席の理由を伝える必要があります。欠席が続く場合、毎回朝に連絡をしてください。もし誰も電話に出なかった場合には、留守番電話にメッセージを残してください。

### 学校で気分が悪くなった場合

担任教師または学校のスタッフに声をかけてください。学校内には体を休める休憩室があります。希望があれば帰宅することも可能です。

### 医者や歯医者にかかりたい時には

ホストファミリーがかかりつけの医者連れて行く、もしくは学校が医者の予約を取り、スタッフが同行します。通訳が必要な場合は、スクールアドバイザーが一緒します。

### 医者や歯医者にかかる時に必要なものは・・・

ーパスポートまたはパスポートのコピー

ー学生ビザ または学生ビザのコピー

（SCLI がパスポートとビザを安全な場所に保管しますので、両方のコピーを発行します）

診察を受けた日に、診察料を支払う必要があります。領収書は必ず大切に保管してください。日本に帰国後、保険会社への請求に領収書が必要になります。



## 緊急な病気や怪我



緊急な処置が必要な病気、怪我をした場合には、その場にいるホストファミリーもしくは SCLI のスタッフのどちらかが、総合病院の救急課もしくは 24 時間救急センターへお連れします。

## 心の健康を大事にする

あなたの精神面の健康を、私たちはとても大切にしています。

SCLI は学院のカリキュラムにも組み込まれている”心の健康の講座“に力を入れています。この講座では、心の健康を良いバランスで維持するためのさまざまな方法を教えます。

誰もが時として、ストレスや不安を経験します。ある程度のストレスや不安、

ホームシックや悲しい気持ちになるのは仕方なくても、もしそれが長期間に渡り継続したり、悪化するようなことがあれば、特別な手助けが必要です。



その場合には、学生アドバイザーに相談しましょう。

クライストチャーチには日本人の心理カウンセラーがおり、1対1でのカウンセリングを受けていただくこともできます。

## 緊急事態

ニュージーランドでの緊急電話の番号は “111”です。(警察、消防、救急車 共通)

緊急の際には：

- 111 に電話をかける
- オペレーターに警察、消防、救急車のどのサービスが必要かを告げる

- 名前、住所、電話番号を伝える

## 日本のご両親、保護者へのサポート



SCLI は、お嬢様がより良い環境で生活するための支援と、ニュージーランドでの 1 年を最大限に活用して英語習得において良い結果に導けるよう、努力していきます。

## お嬢様がニュージーランドへ出発前に

校長が主催する 2 回のズームミーティングにご参加いただけます。通訳として学生アドバイザーが同席しますので、質問があればお答えいたします。

## お嬢様のニュージーランド留学期間中

質問やご相談は、メールをご利用いただけます。メールアドレスは [lisa@scli.co.nz](mailto:lisa@scli.co.nz) です。

英語または日本語どちらでも対応可能です。

1 年間に 3 回、お城様の通知表をお送りいたします。

フェイスブック（Southern Cross Language Institute にて参加リクエストをしてください）やインスタグラム（[scli.nz](https://www.instagram.com/scli.nz)）をフォローすることで日々私たちがどのように過ごしているかをご覧ください。

1 年の留学中、校長が主催する 3 回のズームミーティングにご参加いただけます。通訳として学生アドバイザーが同席します。ミーティングは学期末に行われ、各学期の総評、通知表と評定の説明、そして次の学期に予定されていることなどをご案内いたします。質疑応答の時間もお取りする予定です。

**THE FOLLOWING RULES APPLY TO ALL STUDENTS- translated  
into Japanese:**

**サザンクロス語学学院 生徒規則**

1. 夕方暗くなってからは生徒は公共交通機関を利用のこと。暗くなってからの活動（夜間コースなど）に参加している場合は、ホームステイ宅の両親に送り迎えを依頼しなくてはならない。
2. 生徒はサザンクロスでの授業が終わってから、ホストとの間で取り決めた時刻までに帰宅しなくてはならない。
3. 外出の時は、行き先と帰宅時間をホームステイ先に知らせなくてはならない。迎えが必要な場合は、前もってその旨をホームステイ先に伝えておかなくてはならない。
4. 生徒は、ホームステイ先の家族の前では英語を話さなくてはならない。
5. 学校のあるウィークデーの間は、生徒は外泊してはならない。
6. 友人宅に宿泊の場合は、その家の親による監督がなくてはならない。親による監督のない場所（フラット等）への宿泊を禁止する。
7. 生徒はニュージーランドで運転免許取得のための教習をうけてはならない。
8. 生徒は、25歳以下の運転者が運転する自動車に同乗してはならない。日本の保護者が許可する場合は同乗してもよいが、運転者の名前を特定して許可を与えなくてはならない。
9. 生徒はカラオケバー、パブ、ディスコ、ナイトクラブなどの構内に入場してはならない。
10. 生徒は喫煙、飲酒をしてはならない。
11. 日本の高校によって、生徒はボーイフレンドを持つこと、髪を染める、もしくは脱色すること、パーマをかけることは禁止されている。
12. 生徒はホームステイ先の両親の承認なしに休暇中もしくは週末の旅行へ出かけてはならない。

13. 生徒は日本の保護者の文書による承認なしに以下の危険なスポーツ、アクティビティー等に参加してはならない。曰く、スキューバダイビング、リバー・ラフテリング、パラシュート、リバー・ボートディング及び熱気球。（死亡事故のおきたことのあるアクティビティーである。英語圏外から来ている者は、緊急の場合のインストラクションを理解できないために特に危険にさらされることになる。）
14. 生徒はサザンクロス語学学院の生徒であると共に、日本の高校の生徒でもある。日本の高校の校則に反する行動を起こしてはならない。
15. 生徒は決められた時刻に学校に到着せねばならない。3度以上遅刻した生徒は文書での警告をうける。
16. 生徒が、ホームステイ先から借りてある高価なもの（寝袋等）をなくす、もしくは盗まれた場合は、個人的に弁償の責任を負う。（このような物品には氏名を記入してあること。）  
サザンクロス語学学院には明確な規律の体制がある。重大な規則違反を犯した生徒は、カウンセリングと文書による警告を受ける。警告書のコピーはホームステイ先、日本の保護者、日本の高校の学校長に送付される。警告書にはもし違反が繰り返された場合、サザンクロス語学学院からの退学と学生ビザの撤回がなされ、そののちに生徒は速やかに日本に帰国せねばならない旨が書かれる。18年間のサザンクロスの歴史で800人余りの生徒が卒業したが、退学処分を受けたのは今までに4人である。
17. 学院生は勉強をする上で必要な時のみ学院内で携帯電話を使うことができる。例えば、教師からの情報を写真にとる場合、練習問題のレコーディングをする場合などがこれに当たる。学院生が他の生徒やスタッフの写真、動画などを撮影したり、音声を録音する場合は、許可を得なくてはならない。
18. サザンクロス語学学院では校則としていじめは禁止されている。